

2008年12月20日

三菱ふそうトラック・バス株式会社  
代表取締役 江頭 啓輔 殿

東京公務公共一般労働組合  
中央執行委員長 菅根 秀子  
同 青年一般支部  
(首都圏青年ユニオン)  
執行委員長 武田 敦

2008年12月17日付で当ユニオンが貴社に対して団体交渉を求めました。それに対し、貴社人事・総務本部総務・労政部長村上方一名の回答を受け取りました。

この回答書は、当ユニオンが求めた事に対して一切の回答を拒否したものであり、きわめて不当なものです。

私たちが団体交渉申し入れで求めた要求は、最小限のものです。ひとつは、雇用の継続です。もうひとつは、寮での生活の継続です。

今回の回答には、貴社が行った「派遣切り」によって雇用を失い、住居も失おうとしている派遣労働者の雇用と生活に対して何らの配慮もありません。この12月末には、貴社川崎工場だけで500人もの請負、派遣の労働者が仕事を失うこととなります。この事態にたいして企業もどう対応するのかが問われているときに、貴社の回答はあまりにも無責任であり、派遣労働者に冷たいものです。

そもそも、今回の大規模な「派遣切り」による失業は、言うまでもなく、派遣先企業である貴社が派遣契約を途中で大量に切ったことに端を発しています。今回の回答では、そうした事実を無視し、あたかも貴社が今回の事態に何らの当事者としての責任がないかのようです。

首都圏青年ユニオンは、あらためて以下のとおり、貴社に対し公開質問し、交渉に応ずるようもとめるものです。

## 質問状

1. 三菱ふそう川崎工場において、12月末で契約を打ち切られる期間工・派遣労働者約500名のうち、派遣契約途中での契約解除の人数を明らかにしてください。派遣契約満了まで契約を維持することができなかつた理由についてあきらかにしてください。
2. 当労組組合員が居住している三菱ふそう中原寮には、2008年12月17日現在、22名の居住者があり、28部屋の空き室があります。現在、この寮に居住する派遣労働者も12月から来年1月にかけて退去を指示されています。三菱ふそうが所有している社員寮には、大量の空き室が存在しているはずですが、三菱ふそうが所有している寮の空き室をあきらかにしてください。いま、神奈川県や川崎市では、公営住宅を「派遣切り」された労働者に優先

的に空き室をあっせんしています。三菱ふそうの寮の空き室についても、「派遣切り」された労働者の居住をすすめるようもとめます。

本年12月25日(木)までに質問状に対する回答を書面にて当ユニオンまでご送付ください。

首都圏青年ユニオン（東京公務公共一般労働組合青年一般支部）

東京都豊島区南大塚2-33-10 東京労働会館5階

03-5395-5255（代表）03-5395-5359（直通）

03-5395-5139（FAX）

本件担当者

河添 誠 （首都圏青年ユニオン 書記長）

山田 真吾 （首都圏青年ユニオン 書記次長）